指定校番号 27084 別紙様式 2

平成 27 年度生徒指導集中対策指定校及び生徒指導実践指定校 「特別活動の取組事例」

学校名 福山市立神辺中学校 校長氏名 金田 耕治 生徒指導主事氏名 山口 義哉

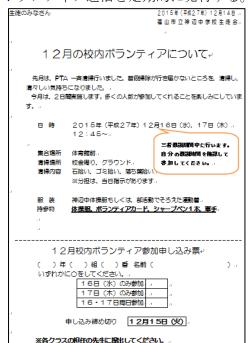
取組事例名 『ボランティア活動』

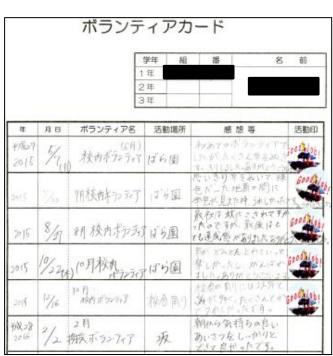
取組のねらいキーワード『自己肯定感』

・ボランティア活動により他者から「認められる」「誉められる」ことを通して、自己肯定感を高め、暴力行為の問題行動の減少につなげる。 → 望ましい人間関係を形成する。

取組の具体的内容 キーワード『活動をルーティーンに』

- ・月に1回程度,ボランティア活動を計画,実施する(ボランティアをお知らせに申し込み用紙をつけ, 事前に人数を把握(当日参加も可))。
- ・ボランティアカードに感想などを記入し、参加生徒にはシールを貼る。
- ・ボランティア中に写真撮影する。
- ・ボランティア通信を定期的に発行する。









取組の課題・創意工夫 キーワード『多方面から誉める』

課題

- ・計画的に実施できていないこともあり、参加人数に伸び悩みがあった。
- ・部活動単位で、参加を促していくこと。
- ・教員主導になっている。

創意工夫

- ・参加した生徒を教員が誉める。 →参加教員・担任・校長が誉める。
- ・地域住民が誉める。 →神中バラ会の活動日とリンクさせ、地域住民に誉めてもらう。
- ・保護者が誉める。 →ボランティア通信をきっかけに保護者に誉めてもらう。
- ・生徒指導主事が教員を誉める。 →参加教員をタイミングを見て誉める。第3者を経由して誉める。

取組の成果 (効果) キーワード 『道徳的価値の醸成』

- ・参加生徒の感想で 「バラ園の草抜きをした。大変だったけど、学校の為に動くことができた。」「トイレ掃除をした。きれいになって良かった。これからはきれいに使いたい。」というような感想があった。
- ・生徒会や部活動の部長、神中リーダー以外の生徒が輝く場面があった。

今後の展開キーワード『任せる』

- ・生徒会執行部(本校では本部)の活動の一部として、位置づけ、生徒が企画・運営できるようにする。
- ・生徒指導主事が携わるのではなく、他の教員が生徒の運営補助ができるようにバトンパスしていく。
- ・校内だけでなく、地域に出ていき、公園清掃や祭りの手伝い等、地域ボランティアを活性化させる。



他校へのアドバイス キーワード『取組を楽しむ』

・「面倒くさい」というような姿勢でなく、教員が、ボランティア活動のねらいを共有し、楽しみながら同じベクトルで活動に参加する。

